

Helicobacter pylori（ピロリ菌）感染症診療の後方視的検討

1. 研究の対象

2009 年 1 月～2025 年 3 月に当院でピロリ菌感染症に関する診断、治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

Helicobacter pylori（ピロリ菌）の感染は萎縮性胃炎や胃十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、胃癌、特発性血小板減少性紫斑病などの様々な疾患の発症と密接に関連しますが、除菌治療により、疾患の発症や再発が予防されます。

ピロリ菌感染の診断方法は複数あり、最近では内視鏡廃液を利用した PCR 検査が保険適用になり、ピロリ菌感染の有無だけでなく、除菌薬であるクラリスロマイシン耐性の有無も分かるようになってきています。

ピロリ菌の除菌治療には酸分泌抑制薬、抗菌薬を組み合わせ内服しますが、強力な酸分泌抑制効果を持つポノプラザンの使用が可能となり、除菌率は向上してきています。しかしながら、生活環境の変化やグローバル化の進行により、ピロリ菌感染と関連する環境も変化しつつあります。そのため、除菌治療の成績のみならず、除菌回数、除菌薬の選択、除菌日数、耐性菌感染の有無、薬剤アレルギーの有無などを考慮して効果を評価することが必要となってきました。

ピロリ菌感染症診療の現状を評価するとともに、その有用性や妥当性の変遷を検討することを目的に本研究を立案しました。研究期間は 2029 年 3 月 31 日までです。

3. 研究に用いる情報の種類

ピロリ菌感染診断の結果、ピロリ菌除菌治療の結果、副作用の頻度、受けられた患者さんの年齢、性別、生活歴など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

川崎市立川崎病院内視鏡センター 正岡建洋

住所：神奈川県川崎市川崎区新川通 12-1

電話：044-233-5521（代）

-----以上